

日本天文学会2014年秋季年会 実施報告

滝沢元和(天文学会年会開催地理事)

柴田晋平(公開講演会)

梅林豊治(ネットワーク関連)

郡司修一(学科との調整役など)

門叶冬樹(懇親会)

中森健之(Web関連)

アルバイト36名(物理学科4年生 & 院生)

物理学科年次報告会

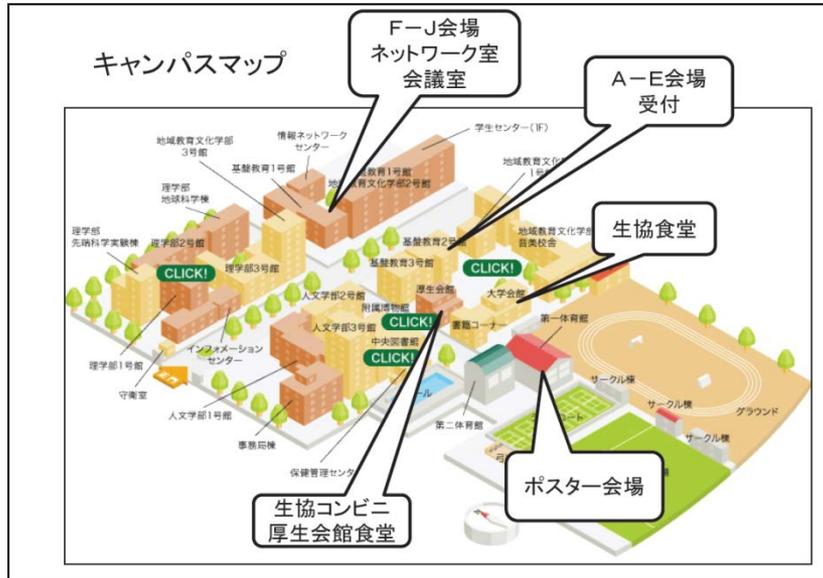
(2015.4.23@13番教室)



(時間切れになる前に)謝辞

- 天文学会開催に当たって、物理学科のみなさんからの直接的、間接的なご協力に感謝します。
- 特に、学科内の4年生 & 院生のみでアルバイトをまかなえたことは運営上大変助かりました。快く送り出してくれた各研究グループの各先生方に感謝します。
- 特に、滝沢の学科内の通常業務にたいするご配慮を感謝します。

年会(2014.9.11-13@小白川キャンパス)



- 講演数 709件
- 参加者数 920名
- 2014年度に小白川キャンパスで行われた学会では2番目の規模(小白川関係者が行ったものでは最大)。
- アルバイトのみなさん(物理の4年生 & 院生 36名)ご協力ありがとうございました。



懇親会 (2014.9.12@ホテルキャッスル)



深尾理事(副学長)の挨拶



花笠踊りのレクチャーを受ける
学会参加者やアルバイトの皆さん
小島君(宇放研)が表彰された

- 参加者301名
- 山形舞妓や花笠踊りなどのアトラクション
- 参加者からは大変好評、「お金足りるの？」と心配されました。

公開講演会 (2014.9.14@山形テルサ)

山形日和。 日本天文学会公開講演会

天文日和

今日の午後、宇宙散歩は、なんとっす

山形は宇宙に一番近い場所かも知れません。市民の宇宙への関心が非常に高まります。超新星の発見の名人、板垣公一をはじめ、アポロの探検家も多く、宇宙大好きな市民 NPO による観望や天文祭が本気で盛りだくさんです。大学では宇宙物理学の発展の成果が行われています。

このたび、日本天文学会が山形大学と連携することになり、あわせて公開講演会を開催し、この機会に、宇宙の不思議な天文学の最新成果を語り合います。

だれもが楽しめる以下の3回講演です。

2014年
9月14日 13:00~16:30
(開場 12:30)

会場 **山形テルサ** 3F アプローズ
(山形県山形市双葉1丁目2-3)

定員 **400名**
(総合司会) 山岡 均 (九州大学・日本天文学教育理事)

参加費無料
(事前申込不要)

どなたでも参加できます
(途中大退場可)

講演 1 たのしく星探しやってます! ~超新星ハンターのひとりごとより~
板垣 公一 (山形市在住アマチュア天文家)

講演 2 1000年の時空を駆けた超新星の話
小山 勝二 (京都大学 名誉教授)

講演 3 宇宙138億年の進化
吉田 直紀 (東京大学 教授)

おたのしみ 4 会場と講師をつないだ立体的な会話の時間・質問コーナー

会場 **山形テルサ** 3F アプローズ
(JR山形駅西口)
山形県山形市双葉1丁目2-3

日本天文学会公開講演会

天文日和

今日の午後、宇宙散歩は、なんとっす

(総合司会) 山岡 均 (九州大学・日本天文学教育理事)

講演 1 たのしく星探しやってます! ~超新星ハンターのひとりごとより~
板垣 公一 (山形市在住アマチュア天文家)

2001年以降、毎年複数の超新星を発見し続けている板垣公一さんが、実際の観測の様子、努力のポイントなどを楽しく語る。

講演 2 1000年の時空を駆けた超新星の話
小山 勝二 (京都大学 名誉教授)

千年前、空澄明とその子孫が超新星観測を続けた。その結果を、藤原実家(明石記)に残した。その記録、超新星爆発は最新の観測機器で観測された。ここでは千年前の超新星爆発とその爆発を観測した最新の天文学の話題を取り上げて、1000年の時空をかける壮大な旅に案内する。

講演 3 宇宙138億年の進化
吉田 直紀 (東京大学 教授)

最新の宇宙観測とコンピューターシミュレーションによる結果を交え、ダークマターやダークエネルギー、宇宙膨張の時代など、宇宙進化の歴史を分かりやすく解説します。

おたのしみ 4 会場と講師をつないだ立体的な会話の時間・質問コーナー

会場 **山形テルサ** 3F アプローズ
(JR山形駅西口)
山形県山形市双葉1丁目2-3




- 参加者約350名で大盛況
- もっと大きな会場でもよかったかも、
- 、



